



Bell Friend

鈴鹿短期大学 鈴友会会報 卒業記念号
平成28年3月18日発行



皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴友会名誉会長・学長

市野 聖治



鈴友会会長

増田 文子
(昭和44年度卒業)

鈴鹿短期大学での学業を終えられ、ここに卒業を迎えられるみなさんに、心よりお喜びを申し上げます。

みなさんの短期大学部での生活はいかがでしたか。楽しかったこと、苦しかったこと等、貴重な経験を積まれたことでしょうか。卒業は、これまで学んだことを踏まえ、さらなる輝かしい未来へ新たな一歩を踏み出すことです。

私たちを取り巻いている周囲の状況の厳しさについては、みなさんも承知していることと思います。私たちは、不確実で複雑な、激動する社会の中にいます。「先が読みにくい時代」であればあるほど、新たなことや人との出会い、学ぶことの意味は、より重く、大きくなります。

みなさんは、自分の価値観に基づき、主体的に学ぶという覚悟をもって、この卒業を迎えているのだと、私は確信しています。先人の叡智(えいち)は、困難に直面した時、それを不運や不遇とは嘆かず、「自らを鍛える良い機会」と捉えて、その困難に立ち向かうことの大切さを説いています。

人間として本質的な目的・目標を持ち、その実現のために、新たな課題にも取り組む勇気を持ってほしいのです。これらの課題解決へ向けて、みなさんに対する社会の期待も大きくなってきます。本学には常に新たな学びがあり、あなた方を成長させてくれる「場」が用意されています。必要な時には、いつでも戻ってきてください。

卒業という未来への旅立ちに際し、みなさん一人ひとりが幸運に恵まれることを祈ってやみません。

卒業生の皆様、おめでとうございます。

なんと晴れやかで、すがすがしく、誇らしげな面持ち。その由来はどこからか。何事があっても、2年間、学び続けてきたという、持続の勝利の栄冠に他ならないと思います。ここに至るまでには、幾多の方々のご尽力があったことでしょうか。感慨深いものがあると思います。

皆様は、鈴鹿短大として最後の卒業生になられます。在籍中に、校名の変更、専攻科の追加、募集人員の増加と、学校の発展を身近にみられての学生生活。かたや、就活に出向かれたり、実習を経験されたりして、生身の実体験を経験なさって感じられた中には、日の当る場所ばかりではない、という現実があることを。雇用体系が、正規、非正規、派遣と多岐にわたる細分化。子供の貧困化等々。幾多のことが取り上げられています。これからの船出にあたり各自の真価が、ますます、問われることとなります。幸多かれと祈らずにはいられません。就職してみて、これでいいのか、こんなはずではなかった、と疑問に思うことが出てくることでしょうか、中に携わって初めてわかる疑問の数々。心が、なえてしまいそうなことがあるかもしれません。

私は、新聞の寄稿文を読むのが好きです。先日こんな記事を読みました。「個性」「自分らしさ」に関してですが、「自分の持てる力を、全部、出しきって生きてみよう」と決心して、努力また努力を重ねた人だけが、本当に個性的に輝いてくる」とありました。皆さんも自分らしく輝いてみませんか。その一助に、私達同窓会はなりたいのです。いつでも声をかけてください。学校に来てください。

今年は、同窓会総会も開催予定となっております。またの再開を待ち望んでいます。さらなるご健勝とご活躍をお祈りいたします。



❀ 巣立つ皆さんへ・・・贈る言葉 ❀

生活コミュニケーション学科 生活コミュニケーション学専攻 (小川 真由子)

ご卒業おめでとうございます。私が鈴鹿短期大学へ着任したときに入学されたみなさんが卒業されると思うと感慨深いものがこみ上げてきます。2年間で学んだことはきっと今後の人生の中で大きな支えとなるはずです。笑顔と感謝の気持ちを忘れず、これからも自分の道を切り開いていってください。



生活コミュニケーション学科 食物栄養学専攻 (前澤 いすず・木下 麻衣・森 安莉沙)

ご卒業おめでとうございます。2年という限られた期間のなか、皆さんが資格取得に向けて努力していたことを知っています。だから自信を持って新しい道を進んでね。そして、皆さんのステキな笑顔は、私たちの“癒し”でした。笑顔は最高のお守りです。これから出会う人たちにもステキな笑顔を届けてね。それぞれの道でご活躍されることを祈っています。

生活コミュニケーション学科 こども学専攻 (山野 栄子)

ご卒業おめでとうございます。皆さんが、短大で培った学びや人との絆を大切に、これからも自分らしく一瞬一瞬を大事に、一歩ずつ成長し輝いて生きていってくださることを願っています。そして、常に自分の言動に責任をもち、信頼される人になってください。若い皆さんのことを心から応援しています。

また、どこかでお目にかかれることを楽しみにしています。



専攻科 健康生活学専攻 (大野 泰子)

専攻科4期生、ご卒業おめでとうございます。専攻科は短期大学の基礎の力に加えて、アクティブラーニングの実践により学びを深め、成果を修了研究として論文に纏められました。専攻科研究は年々深まり、先輩方のご協力により関心を持たれるようになりました。

本学の養護教諭養成は2種免許課程開設から46年、専攻科開設5年目となり、養護教諭1種免許取得卒業生は今春を含め14名となりました。「誠実で信頼される」人である本学卒業生、さらに子どもたちの命と健康を守る教育者として精進してください！



～幹事紹介～

平成27年度 卒業生119名は、本日鈴友会に入会します。
生活コミュニケーション学専攻・・・日置 理沙・水谷 緋里
食物栄養学専攻・・・・・・・・・・有村 京佳・森 愛佳
こども学専攻・・・・・・・・・・猪子 翔平・西井 千瑛
健康生活学専攻・・・・・・・・・・大澤 隼人

鈴友会事務局便り

卒業後、鈴友会からご連絡をさせていただくこともありますので、住所・改姓・電話番号など連絡先に変更がありましたら、鈴友会事務局までご連絡をお願いします。皆さん、時々クラス会を開催して、近況を把握してください。クラス会報告、近況報告、随時受け付けております。皆さんで楽しい会報を作りましょう。

鈴友会(同窓会)事務局

〒510-0298 鈴鹿市郡山町663-222 鈴鹿大学短期大学部内 Tel (059) 372-3900 Fax (059) 372-3903